



プレスリリース

戦時下のウクライナで、HIV 陽性者、HIV に影響を受けている人たちが 人道的大惨事に追い込まれている UNAIDS が警告

市民社会主導のネットワークによる HIV 治療提供の英雄的活動に国際的支援の拡大を

ジュネーブ 2022年4月13日 ウクライナにおける戦火は HIV 陽性者、および HIV に影響を受けている何十万もの人たちの生存に不可欠な医療サービス、およびその供給網に破壊と混乱をもたらしています。ウクライナでは国民の 100 人に 1 人が HIV 陽性であり、抗レトロウイルス治療、および HIV 予防のサービスが利用できないことは、死を意味します。ウクライナのエイズ流行は再拡大の恐れがあります。救命サービスに不可欠なコミュニティ主導のネットワークを維持するには、国際支援を緊急に拡大する必要があります。

HIV の治療・予防・ケアのサービスを提供していた 40 以上の保健医療施設が閉鎖に追い込まれ、他の施設でもさまざまなサービスが中断しています。世界保健機関 (WHO) は 4 月 11 日までに、ウクライナで 100 か所以上の保健医療施設が攻撃を受けたことを確認しました。国内の供給ルートは混乱に陥っています。国連児童基金 (ユニセフ) の報告では、水道網への攻撃と停電により推定 140 万人が飲料水を得ることができず、さらに 460 万人の利用も制限されています。また、世界銀行によると、ウクライナ経済は今年、45%の縮小が予想され、重要な保健・社会プログラムの維持に深刻な脅威をもたらしています。

米大統領エイズ救済緊急計画 (PEPFAR) が調達した 1800 万回以上の抗レトロウイルス薬の第一便が先週、リビウに到着しました。ウクライナ保健省の公衆衛生センターとウクライナ最大の HIV 陽性者組織である 100%ライフが現在、協力して配布にあたっています。この薬が届けられれば、抗レトロウイルス薬の初回組み合わせで治療を受けている HIV 陽性者全員に対し、6 カ月分の供給をカバーすることができます。これはウクライナで 12 カ月分の HIV 治療を提供できる資金を確保するという PEPFAR の方針の一環です。UNAIDS の推定によると、ウクライナの HIV 陽性者は 26 万人で、うち 15 万 2000 人が HIV 治療薬を毎日服用していました。

世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (グローバルファンド) も、HIV、結核サービスの確実な維持に向けて緊急資金を提供しています。

いま大切なのは、命を救う HIV 治療薬が必要な時期に必要なすべての人に確実に届くようにすることです。市民社会組織は、HIV 陽性者、HIV の影響を受けている人たちに不可欠な医薬品とサービスを提供するための英雄的な活動を開始しています。厳しい試練を乗り越え、極めて困難な状況の人たちに届けようとしているのです。しかし、提供とケアのシステムを支えている市民社会組織の活動は国際的支援がなければ続けていけません。

「ウクライナの HIV 陽性者が置かれている状況は絶望的です。薬や食べ物、緊急援助物資を提供する試み自体が危険であり、ボランティアも命の危機にさらされています」と 100%ライフ調整協議会のドミトロ・シェレンバイ委員長はいう。「支援がなければ、最前線の人たちに到達する活動をどこまで続けていけるかわかりません」

UNAIDS は、HIV の流行が深刻な 7 都市（チェルニーヒウ、ドニプロ、ハリコフ、クリヴィーリフ、キーウ、オデーサ、ポルタバ）に対し、緊急人道支援プログラムに 20 万ドルの資金を提供しました。さらにより広範な対応の一環として、ウクライナで HIV サービスを提供する市民社会組織、および周辺国で HIV 陽性の難民を受け入れる人たちの支援に必要な 242 万ドルの緊急資金拠出を国際社会に求めています。

「市民社会組織と HIV 陽性者、HIV に影響を受けている人たちのコミュニティは、ウクライナの HIV 対策の基盤です」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は述べています。「HIV の治療・ケア・予防プログラムの継続性を保つには、追加の財政と物資の支援が緊急に必要です。命を救うために、そしてウクライナのエイズ流行再燃を防ぐことが可能になるように、すべてのドナーが支援に加わることを強く求めます」

ウクライナは HIV 対策に先駆的に取り組んできました。戦争の恐ろしさを乗り越え、人びとに必要なサービス提供を続けることができたのは、公的機関とコミュニティ主導の組織に協力の基盤があったからです。しかし、HIV サービスの創造性と勇気を支えてきた市民社会のネットワークがこれからも活動を続けていくには、国際支援を強化する必要があります。

弱い立場に置かれた人たちに医薬品や保健サービスの提供を続けることは依然として非常に困難です。UNAIDS はウクライナ国内および国際的な人道援助パートナーと協力して、ウクライナの数十万の人たちに医療および人道支援を提供するための緊急対策に取り組んでいます。

公衆衛生同盟（Alliance for Public Health）は、弱い立場に置かれた人たちの避難や食料・医薬品の配達など差し迫った人道的ニーズに対応し、紛争中に必要な緊急支援を提供するためにミニバスを使用しています。最前線の現場となっているコミュニティでは、支援を必要とする人とつながるために並外れた努力をしています。たとえば、施設が閉鎖に追い込まれている地域で薬物使用者にオピオイド代替療法を続けるために、公衆衛生同盟は移動診療所を開設しました。UNAIDS はまた、グローバルファンドや共同スポンサー機関、国連薬物犯罪事務所と協力して、オピオイド代替療法を追加供給できるようにしています。

戦争で数百万のウクライナ人が国を離れ、HIV 陽性の女性と子供数千人が受入国で支援を必要としています。UNAIDS 共同スポンサーとパートナーの支援により、難民となった人たちが抗レトロウイルス治療を受けられるようモルドバ共和国や欧州連合全体の市民社会ネットワークが活動しています。

WHO は製薬会社 ViiV Healthcare との契約を仲介し、チェコやポーランドをはじめ多数のウクライナ難民を受け入れている EU 諸国に HIV 薬を寄付できるよう支援してきました。

UNAIDS は国際社会に対し、最も高いリスクに直面している人たちへの心理社会的サービスや HIV 治療・予防サービス、ジェンダーに基づく暴力に関連するサービスの強化に向けて難民の宿泊施設への支援も呼びかけています。UNAIDS の共同スポンサーである国連女性機関（UN Women）は、ウクライナにおける性的虐待と人身売買の報告が危機状態にあることを示していると指摘しています。UNAIDS は、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセックスの人たちの危険が高くなっていると警告しています。

ビヤンマ事務局長は戦争終結を求める国連の要請を再確認し「いま最も必要なのは平和です」と語っています。「ウクライナでの戦争を今すぐ止めなければなりません。戦争終結が回復の前提です。そして戦争が終わった後でも極めて大きな支援が必要になります。ウクライナの HIV 陽性者は、この戦争により重大な危険にさらされています。命を救うために、命を賭けて HIV サービスを提供しなければならないのです。市民社会主導の対応ネットワークに対し可能な限りあらゆる支援が必要です」

ウクライナの HIV ホットライン番号：0800 500 451。

HIV 陽性のウクライナ難民へのさらなる支援は、国外ウクライナ人のための ART イニシアティブのウェブサイトです。

<https://www.eceenetwork.com/patients>

このサイトはウクライナ保健センターと連携して開設しました。国外への避難を余儀なくされているウクライナの HIV 陽性者の所在とニーズに関するより正確なデータが収集されています。